

埼玉大学教職大学院 Q & A

お寄せいただいた過去の回答集

【埼玉大学教職大学院入試について】	1
【現職教員受験について】	3
【指導教員について】	3
【埼玉大学教職大学院について】	4
【実習について】	6
【免許取得について】	6
【就職先について】	6

【埼玉大学教職大学院入試について】

Q. 1期と2期の違いについて教えてください。

A. 異なる点は出願や試験の日程のみですが、1期で入学定員に近い合格者数となる場合も考えられます。募集内容や試験時間等は1期、2期ともに同じです。ただし、教員採用試験を受験する場合は、1期の出願～合格発表までの期間と日程が平行することが多いので、両方の日程をよくご確認のうえ進めていただければと思います。参考に埼玉県とさいたま市の選考試験詳細ページを記載します。

《埼玉県の教員採用試験》

[公立学校教職員採用選考試験 - 埼玉県 \(saitama.lg.jp\)](https://www.pref.saitama.lg.jp/f2210/kyousyokuin-saiyou/shiken.html)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2210/kyousyokuin-saiyou/shiken.html>

《さいたま市の教員採用試験》

[さいたま市／職員採用（教育委員会） \(saitama.lg.jp\)](https://www.city.saitama.lg.jp/006/001/001/002/index.html)

<https://www.city.saitama.lg.jp/006/001/001/002/index.html>

なお、教員採用試験で合格した場合、各都道府県教育委員会が教職大学院進学者の採用候補者名簿登載を 2 年間猶予する制度がないか、あるいは採用試験志願時に猶予を希望する旨を記載していなかった場合に、いずれかを選択しなければなりません。猶予制度がある場合は、採用試験合格後、2 年間教職大学院で学修することが可能です。

教員採用試験における2年間の猶予制度の有無は、各都道府県教育委員会に採用候補者名簿登載について確認してください。採用猶予制度があれば各都道府県・政令指定の教員採用募集要項に猶予の条件記載があるはずです。

Q. 研究計画書はどれほど具体的に作るべきでしょうか。

A. 出願書類については募集要項をご確認の上、ご自身で判断していただければと思います。

Q. 他大学(他県)から埼玉大学大学院を受ける際、不利になることはありますか？

A. 他大学からの受験で不利になることはありません。他大学、他県から受験する方は毎年多くいます。

Q. 教育学部窓口での過去問の閲覧は、説明会の日でも可能でしょうか。

A. 教育学部支援室窓口の開室時間であれば、過去問の閲覧は可能です。

(過去問閲覧可能時間:平日 9:00-16:30)

なお、一般選抜等の筆記記述分の過去問は 3 年分 HP 上にアップしています。ただ、年度によっては受験生がいなかったり、募集をしていなかったりするサブプログラム分はありません。また、口述試験の過去問題ははありません。

Q. 留学生向けの入試はありますか。

A. 現在、留学生向けの入試は実施しておりません。日本国の教員免許状(1 種もしくは専修)を保有もしくは今年度中に取得予定であれば受験は可能です。詳細は学生募集要項 2 頁をご確認ください。

Q. 入試を受ける前に指導教員の方へ一言メールや挨拶をする場合があると思いますが、教職大学院の場合、その必要は特にはないですか。

A. 本学教職大学院では、その必要はありません。入試の面接時に特に指導を受けたい教員がいれば相談に応じます。

※試験内容に関する質問について

Q. 筆記試験で問われる「教職に関する科目」の対策として、こういった勉強をしておくとういでしょうか(中教審の答申に目を通しておくなど)。

Q. 他大学から貴校に入学するために必要な対策や読んでおいたらい数学教育の本があれば教えてください。

A. 公平性を保つため、試験に関する質問の回答は控えさせていただきます。

【現職教員受験について】

Q. 働きながら通えますか。

A. 現在、夜間開講や休日開講は行っておりません。一定の勤務年数がある現職教員等は、派遣制度・大学院休業制度等を利用して身分を保有したまま入学し、短期履修制度の申請で一年間での修了も可能です。

Q. 現職教員受験で授業料を払いながらの受講になる場合、その間の給料は停止になりますか。また要項に記載してあるもの意外にかかる費用はありますか。

A. 現職教員の方の給与については、派遣制度や休業制度などの制度を利用して入学するかで異なりますので、所属する自治体等にご確認いただければと思います。また、要項に記載している以外の費用については、交通費・教材費等が自己負担となります。(学卒院生、現職院生で職場の保険が適用とならない場合、保険加入費が別途かかります)

Q. 現時点では短期履修制度を検討しています。短期履修制度、長期履修制度等の特例制度は、途中で選択したり変更したりすることはできるのでしょうか。

A. 短期履修制度については、年度途中で申請することはできませんが、入学時点で短期履修を申請した方が1年間での就業について困難になった場合、定められた修業年限(2年)に変更することは可能です。授業料は通常通りとなります。また、長期履修制度については在学途中での申請及び履修期間の変更が可能です。

【指導教員について】

Q. 指導教員への事前訪問は必要ですか。また、オンラインでも可能ですか。

A. 事前訪問は必要とも不可ともしておりません。所属を希望される指導教員に事前訪問について問い合わせされたいが連絡先が不明の場合は、教育学部係(048-858-3144)にお問い合わせください。

Q. 研究室訪問をオンラインで行うことは可能ですか。

A. 訪問されたい研究室の指導教員に直接ご依頼いただくようお願いします。連絡先が不明の際は教育学部係(048-858-3144)にお問い合わせください。

【埼玉大学教職大学院について】

Q. 埼玉大学教職大学院ではどのようなことが学べ、どのような研究ができますか。

A. 修了生がどのようなことを学び、研究しているかという情報は、教職大学院 HP の課題研究報告書(<https://www.saitama-u.ac.jp/edu/grad/master/report/>)に掲載されております。ぜひご覧ください。

Q. 埼玉大学の教育学部から進学する学生がほとんどでしょうか？

A. 本学教職大学院は他大学の学生も多く在籍しています。新卒の大学院生のうち、3 人に 1 人は他大学の学生です。

Q. 新卒の大学院生はどのくらいいますか？

A. 現在、新卒の院生が 7 割～8 割、現職教員等の院生が 2 割程度在籍しています。

Q. 大学独自の金銭的な支援などがありますか。

A. 奨学金については、学生支援課奨学支援担当係の HP に詳細がございます。

[奨学支援 - 埼玉大学学生生活支援室 \(saitama-u.ac.jp\)](https://park.saitama-u.ac.jp/~student_support/shougaku/)

(https://park.saitama-u.ac.jp/~student_support/shougaku/)

また、大学独自ではありませんが、奨学金の返済免除制度もございます。

[教員になった者に対する奨学金の返還免除制度（教員免除） | JASSO](https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/kyouinmenjo.html)

(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/kyouinmenjo.html>)

Q. 学部から進学して 2 年で修了するのと、一度教員になり 1 年で修了するのとではどちらがいいですか？

A. 学部から進学する場合と異なり、一度教員になり身分を有しながら大学院に進学する場合、所属機関の許可が別途必要になります。また、カリキュラム的には新卒生と現職教員の実地研究の内容は変わります。

Q. 楽器の個人レッスンの時間はありますか。

A. 入学後に所属されたい研究室の指導教員に直接問い合わせていただくようお願いします。連絡先が不明の際は教育学部係（048-858-3144）にお問い合わせください。

Q. 課題研究では、二分野（教育心理学と技術教育）のハイブリッド研究はできますでしょうか？

A. 課題研究の内容については、入学後に指導教員と相談して決定することとなります。指導教員を選ぶ際には、埼玉大学研究者総覧(<https://rdb.eva.saitama-u.ac.jp/search/group-search.html?lang=ja>)をご確認ください。ハイブリッド

研究ができるかどうかについては、指導教員選択の際にご確認ください。

Q. どのプログラムにいたとしても他のプログラムの選択授業を受けることは出来るか？

(学校構想プログラムに所属していて言語文化サブプログラムの選択授業を受けるなど)

A. 選択科目は、自サブプログラム以外のサブプログラム科目や「現代的・地域的教育課題の共同探求」、「教育実践総合演習」という科目から選択して履修することができます。時間割が被っていないければ、他のサブプログラムの様々な科目を取り、知見を広げることが可能です。

Q. 現役の教員の方々と新卒同士の交流や勉強の機会はありますか。また小学校や中高各教科等の他プログラムを学んでいる学生との交流の機会は多いでしょうか？

A. 1 年次に履修する必修の共通科目など、多くの科目で現職教員や他のサブプログラムの学生と交流ができます。

Q. 乳幼児教育について学んでいる方はいますか。

A. 幼児教育についての専門職性を高めるためのコースである子ども共育サブプログラム(幼児教育)は複数の在籍生がいます。また、現在すべてのサブプログラム、分野に在籍生がいます。

Q. 大学院生の 1 日(1 週間)のスケジュールを知りたい。

A. 大学院生は 1 週間のなかで授業やゼミ、非常勤講師など様々な活動を行っています。履修スケジュールについては、カリキュラムの説明でお話しします。

Q. 学校構想サブプログラムと子ども共育サブプログラムの細かなカリキュラムを知りたい。相談先はどこに行けばよいか。

A. 各 SP の教職大学院カリキュラムの特徴につきましては、教育学部係までご相談ください。窓口にお越しの際は、こちら (<http://park.saitama-u.ac.jp/~zengaku/-te/t-data/014.pdf>) の窓口マップをご確認ください。

Q. 2 年間で先生として自信を持って教壇にたてると感じられますか？

A. 本学教職大学院の院生は、経験豊富な教員の指導のもと、様々な角度から学びを深めています。これまでに在籍していた方々は、2 年間の大学院生活を通してよりいっそう知識やスキルを磨き、修了後に学校教員として充実した日々を送っています。

【実習について】

Q. 1 年次から学校に実習との事ですが、特別支援プログラムの中で、重度重複障害や院内学級へ行くことはできますか。

A. 学校における実習科目である実地研究では、原則学校教育法的一条に定める幼・小・中・高・特支学校、いわゆる一条校とよばれる学校で行っています。ご質問のことについては現在検討中です。

Q. 実習の頻度、学内や学生の雰囲気について教えてください。

A. 本教職大学院の実習科目として、「実地研究Ⅰ」、「実地研究Ⅱ」があります。学部卒の大学院生は、9月下旬より「実地研究Ⅰ」で主に埼玉県、さいたま市の小・中・高等学校に週2日8週間の計16日実習を行います。「実地研究Ⅱ」では、4月中旬より週2～4日の計24日実習を行います。現職の大学院生については、「実地研究Ⅰ」がフィールドワークとなり、年間を通じて研究会や公開授業などに参加します。現職の「実地研究Ⅱ」は短期履修制度活用者については免除となり、通常年限で修了する方は学校で24日間実習を行います。学卒院生の実地研究の内容や、学内の雰囲気等については、説明会で詳しくお話しします。

【免許取得について】

Q. 専修免許状は一種免許状とどのような違いがありますか。

専修免許状を取得するメリットはありますか。

A. 専修免許状は1種免許状より上位免許で、区分として一種免許状は大学卒業相当であるのに対し、専修免許状が大学院修了相当となります。

専修免許状を取得すると、専門性の高い教員であるという証明になります。

Q. 大学卒業後に中高教員免許取得予定ですが、中高専修免許に加えて小学校の免許を取得することは可能でしょうか。

A. 本学卒業生以外については、教育実習の科目履修ができないため、大学院進学後本学の学部科目聴講のみでは新たに小学校の免許は取得できません。

【就職先について】

Q. 教職大学院を修了した方々は、その後どのような場で活躍していますか。

A. 多くの方が学校教員となり、教職大学院での学びを生かして学校現場で活躍しています。専門職大学院のため、ほとんどの学生が教員になるために学びにやってきます。

Q. 埼玉県立高校への就職を考えているのですが、埼玉大学大学院へ行くメリットがあればお

聞きたいです。

- A. 埼玉大学大学院では、実地研究の実習校として埼玉県内の高校で実習を行い、雰囲気を感じ取ったり、経験を積んだりすることができます。